

かわばたの風

障がいを持っている子の親なら思うこと

管理者 太田 さとみ

今年も様々な災害が起きました。障がいを持つ方にとっては、避難することがとても困難な場合が多いです。避難場所が無いことは、災害に遭遇した実感をいっそう強め、不安に拍車をかけてしまいま

す。今、障がいを持つ方が安心できるような被災後の対応が求められています。災害時に行き場がないことと同様に、障がいを持つ方が親亡き後、自分が安心して生活できるか否かが見えないこととは、生きていく上での不安要因の一つです。

特に重い知的障害を持つ方は、現状を理解できません。要求や要望を声に出すことも出来ません。だから彼らに寄り添い、幸せな道を歩んでいけるような、彼らを支える周囲の方の力が必要とされています。

現在、障がい者入所施設は国の方針で建設できません、その為、障がいを持つ方は地域で暮らすことを余儀なくされています。彼らが生活するには周囲の理解と支援がどうしても不可欠となります。

災害時、いざという時に躊躇なく手を差し伸べて下さい。日常でもさり気なく、気にかけていただきたい。身勝手なお願いかもしれませんが、同じ人間なのです。少し当たり前のことが出来なかったり、話すことが苦手だったり、様々な障がいを持っているだけなのです。親や身内が近くにいない場合、隣にいる皆さまに、助けてほしい、寄り添ってほしい。障がいを持つ子の親なら誰しもが願うことです。『助けて下さい』『寄り添っていただきたい』と願っています。

●12月の予定●

- ・ 3日 由仁町餅つき大会
- ・ 7日 見学者来所
- ・ 9日 避難訓練
- ・10日 由仁町福祉課来所
- ・16日 空知総合振興局来所
- ・18日 誕生会
- ・23日 クリスマス会
- ・28日 大掃除

由仁町より依頼されております駅前トイレ管理業務が11月で完了しました。今年例年の管理業務の他に建物の全塗装も行い、見違えるようになりなりました。きれいになったトイレは例年以上に利用者数が増え、沢山のの方々から『きれいになったね!!』『うれしいな!!』等の声を聞くことができました。ありがたいお言葉に、来年度からの管理にも益々力が入ります。



風だより

霜月半ば過ぎると、川端にもちらほらと雪が舞い降りる時期になります。朝寒さで目が覚め、窓の外は一面の霜と霜柱におおわれている風景を見て、幼少の頃は、いわきでも当たり前の風景に懐かしくも新鮮な気持ちになりました。▼台風による水害で大変な思いをされている方には、寒さが身に染みるようになり益々暮らしにくくなってきているでしょうが、どうぞお身体にご留意されますよう。一日も早い復興を...と、願わざるをえません。



こんき さいご
今期、最後!!みんなで
 とまごまい
苫小牧に行ってきました。



だいす
大好き
ハンバーグ!!

だいす かいせん
大好き海鮮ドーン!!
 ほっかいどう かいせん
北海道の海鮮はなま
らおいしいよ!!



きょうはなにをか
今日は何を買おうか
な!!
 みやげ わす
お土産も忘れずに!



みんなでおいしく
いただきました
 (#. #)



なが ほっかいどう ふゆ
いよいよ、長い北海道の冬
 まくあ
の幕開けです!!みんなで
 かざ っ
飾り付けました。



かざ
みんなで飾り付け
 かんせい
作業中!完成が楽しみ